

朝鑑賞 シンポジウム

「朝鑑賞」に興味をお持ちの方、アートを通じた学びやコミュニケーションに興味をお持ちの方、小・中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校の先生方、大学等学校教育関係者および学生、市町村教育委員会関係者、対話鑑賞ファシリテーター登録者等にお薦めのシンポジウムです。オンライン聴講も可能ですので、お気軽にご参加ください。

第2回

@鳥取県立美術館

開館直前!

ZOOM配信あり

参加無料

いま話題の「朝鑑賞」に関するシンポジウムを、今年度は時間を拡大し開催!

週に1回、たった10分の

朝鑑賞の実践について道筋を考える

「朝鑑賞」で、安心・安全な学校づくり

日時

令和7年

2月23日[日・祝]

10時▶16時30分

【午前の部】10時 - 12時15分

【午後の部】13時30分 - 16時30分

会場

鳥取県立美術館ホール

〒682-0816

鳥取県倉吉市駄経寺町2-3-12

【定員】申込先着順60名（ZOOMの定員は300名まで）/ 令和7年1月27日[月]より申込受付開始

全国各地から
多彩なパネリストが
倉吉に大集結!

【午後の部】

パネリスト



コーディネーター

三澤 一実 (みさわ・かずみ)

武蔵野美術大学 教授

1963年長野県生まれ。公立中学校美術科教諭、埼玉県立近代美術館主査、文教大学准教授を経て、2008年より武蔵野美術大学教授。「旅するムサビ」を主宰し、2017年「旅するムサビ」はグッドデザイン賞受賞。2016年から朝鑑賞に取り組む。



海老塚 耕一 (えびづかこういち)

多摩美術大学 名誉教授
日本美術家連盟 理事

1951年横浜市生まれ。美術家、現代美術研究者。多摩美術大学名誉教授。個展を中心に発表しサンパウロ・ビエンナーレなど国際展にも多数出品する。美術家としての制作を、鑑賞理論としても論理化しつつ、子どもとの交感(あそびじゅつ)を通して独自に展開している。



青木 善治 (あおき・よしはる)

滋賀大学教職大学院 教授・博士
(学校教育学)

小学校教諭、上越教育大学附属小学校、新潟県立近代美術館、小学校校長を経て2021年より現職。赴任した学校では、朝鑑賞など造形活動を中心に学校経営に取り組む。現在はその魅力を「教師が『教えない人』になれる時間」(東洋館出版)を基に関西の様々な地域で紹介している。



沼田 芳行 (ぬまた・よしゆき)

埼玉県所沢市立安松中学校 教諭

彩の国共育研究サークル学びの杜共同代表、元埼玉県公立中学校校長。2016年より学校研究にアートを取り入れたプロジェクトを主宰してきた。中核となる教育活動に「朝鑑賞」を据え、子どもたちのこれからの生きる学びのチカラを育んできた。著書に「校長の挑戦」(教育開発研究所・共著)



星野 優子 (ほしの・ゆうこ)

茨城県教育研修センター 指導主事

茨城県公立中学校で美術科教員としての勤務後、茨城県教育研修センターで図画工作・美術科担当指導主事を務める。STEAM教育におけるアートに迫るための一つの方法として朝鑑賞に着目し研修に取り入れ、県内での朝鑑賞普及につなげている。



嘉戸 浩二 (かど・こうじ)

鳥取県教育委員会事務局 中部教育局
学校教育担当 係長

鳥取県教育委員会事務局中部教育局で学校教育担当係長を務める。県立美術館がある鳥取県中部地区で、所管の市町教育委員会、各学校とともに、教育現場での美術館の活用、美術や図工を通じた子どもたちの資質・能力の育成に携わっている。

まもなく開館する鳥取県立美術館から、 作品鑑賞を通じて新しい自分に出会う 「朝鑑賞」の理論と先進的な事例を、昨年 よりパワーアップしてご紹介します！

週に1回、朝10分の「朝鑑賞」が生まれて9年。取り組んだ学校では、学力と自己肯定感が目に見えて向上したことが報告され、その取り組みは、全国へと広がりを見せています。さらにその効果は、教師の指導力向上や保護者との関係性にも表れたといえます。体験する多くの人々の変容が期待できるこの取り組みについて、実践者とパネリストをお招きしてシンポジウムを開催いたします。ご来場の皆様からの声もお聞きしながら「朝鑑賞」についての理解を深めるとともに、ご所属での実践へとつなげる機会とします。

必見・必聴の
実践発表を
全国に配信！

令和7年3月30日に開館する県立美術館には、児童・生徒をはじめすべての人たちの「アートを通じた学び」を支援する研究室「アート・ラーニング・ラボ(A.L.L.)」を設置し、多様なプログラムを提案することとしています。学校の先生がファシリテーターとなり対話鑑賞を行う「朝鑑賞」もその一つです。今回のシンポジウムでは、全国各地の小中学校・美術館・行政機関からの実践報告と、武蔵野美術大学の三澤一実氏のコーディネートによるパネルディスカッションによって、「朝鑑賞」が学校に何をもたらし、生徒や教師にどのような変化を生むのかについて、理論と実践の両面から迫ります。

校内研究会に全国から200人！ 所沢市立三ヶ島中学校の「朝鑑賞」

多くの学校では、朝の「朝ドリル」や「朝読書」の他、学校独自の取り組みなど、朝に短時間の学習活動が行われています。「朝鑑賞」はそこで美術作品の鑑賞を行う取り組みです。埼玉県所沢市立三ヶ島中学校では、2015年に実施された「旅するムサビプロジェクト(※1)」をきっかけに、2016年度から、週に1回、金曜日の朝10分間、全教科の先生が、全クラスで一斉に美術鑑賞を始める「朝鑑賞」をスタートしました。武蔵野美術大学の三澤一実教授のサポートのもと、沼田芳行校長を中心に学校マネジメントの視点で進められたこの取り組みは、翌2017年に、読売教育賞2017「カリキュラム・学校づくり」部門の優秀賞(※2)を受賞しています。

※1:「旅するムサビプロジェクト」は、学生の作品を学生自身が全国各地の小中学校でギャラリートークする「旅するムサビプロジェクト」、黒板に絵を描く「黒板ジャック」、空き教室を利用した「公開制作」や「ワークショップ」などを三澤一実教授の指導のもとに実施するもの。

※2:1952年に始まった読売教育賞は、小・中・高、幼稚園、保育所、教育委員会、PTAなどを対象に、意欲的な研究や創意あふれる指導を行い、すぐれた業績をあげている教育者や教育団体を顕彰しています。「国語教育部門」「算数・数学教育部門」「外国語・異文化理解部門」「地域社会教育活動部門」などがある。

10:00 - 12:15 / 開会、実践発表 [各回20分程度:発表15分+質疑応答5分]

実践
発表
①
10:10

埼玉県 上尾市立原市南小学校 教諭 宮河 俊宏 (みやかわ・としひろ)
学校課題研究の中で、対話型で進める美術鑑賞「朝鑑賞」に取り組んできました。学級担任による取り組みから、児童がファシリテーターとなった朝鑑賞、朝鑑賞による異学年交流など、これまでの実践を通じた児童や職員の変容と今後の可能性について発表させていただきます。



実践
発表
②
10:30

鹿児島県 奄美市立崎原中学校小学校 校長 鐘 謙治 (かねけんじ)
調査より、児童生徒の自己肯定感の低さが分かり、職員研修を行う中で様々な取り組みを行ってきました。その中で、武蔵野美術大学三澤教授と知り合い、朝鑑賞を校時表に取り入れました。朝鑑賞を通じて、学力向上や児童生徒の自己肯定感の高まりを感じています。



実践
発表
③
10:50

新潟県 長岡市立上組小学校 教諭 阿部 郁美 (あべいくみ) ※オンライン発表
今年、小学3年生で4か月間行った実践について紹介します。体を使い、真似たりポーズをとったりしながら鑑賞できる作品を中心に計10回の朝鑑賞を行いました。互いの見方・考え方を受け入れながら、自分の考えと比べたり関連付けたりし、作品の見方について生き生きと語り合う子供たちの姿が見られました。



休憩 11:10

実践
発表
④
11:15

鳥取県 倉吉市立鴨川中学校 校長 中山 歩み (なかやま・あゆみ)
昨年、毎週金曜日の「朝鑑賞」をスタートさせました。多忙化解消に努めなければならぬ学校の職員へのアプローチを紹介します。また、学力向上のためには、学級力向上も並行して行っていくべきだと考え、本校生徒の課題である表現力の向上も含めた「朝鑑賞」への取り組みの経過をお伝えします。



実践
発表
⑤
11:35

青森県 八戸市美術館 主査兼学芸員 篠原 英里 (しのはら・えり) ※オンライン発表
八戸市美術館では「アートの学び」を掲げ、学校教育との連携強化に努めています。その一環として、市内小中学校を対象に朝鑑賞の研修を行いました。講師を招いての研修会に加えて、希望校には美術館スタッフが向向き、校内研修を行いました。その事例を紹介します。



実践
発表
⑥
11:55

長野県 東御市企画振興部文化・スポーツ振興課長 高橋 則幸 (たかはし・のりゆき)
長野県東御市(とうみし)では、令和5年より市内すべての小・中学校で、朝鑑賞の取り組みがスタートしました。今回は、東御市での実践事例を、実際の記録映像や写真を交えて紹介するとともに、取り組みを始めて2年目の進捗をお伝えします。



休憩 12:15

13:30 - 15:00 / 登壇者自己紹介、パネルディスカッション

テーマ 「朝鑑賞」で、安心・安全な学校づくり

武蔵野美術大学教職課程研究室の三澤一実教授が聞き手となり、5名のパネリストとクロストークを行います。登壇者の自己紹介の後に様々な取り組みをご紹介いただきながら、朝鑑賞実践の可能性と課題を考える機会とします。

休憩 15:00

15:10 - 16:30 / 質疑応答・閉会

お申込みは、こちらから

ZOOMでの聴講をご希望の方には、後日アクセス先のURLをお申し込みいただいたメールアドレスへお送りいたします。



閉会後の18:30 - 20:30(予定)に、講師の皆様との情報交換会を開催します。参加をご希望の方は、お申込みの際にその旨をご入力ください。(会場未定/倉吉駅周辺/要参加費)

◎ZOOMの配信については、様々な環境要因によるフリーズや音声・映像の乱れが生じる場合がありますので予めご了承ください。尚、本会の記録映像を後日公開することも予定しています。詳しくはWEBサイトにて。

